



UIT

The Urban Infrastructure & Technology Promotion Council
アーバンインフラ・テクノロジー推進会議



第37回技術研究発表会

開催 2025年12月5日(金)

I 論文

II プロジェクト・技術報告

参加無料
発表演題募集！
(論文, 報告)

エントリー期間

2025年 5月26日(月) ~ 7月1日(火)17時 締切

テーマ

▲ **アーバンインフラ再考** ▲
- 未来に向けた安全・安心で持続可能なまちづくり - ▲

会場

3×3 Lab Future

住所：東京都千代田区大手町1-1-2
大手門タワー・ENEOSビル1階
最寄：JR東京駅、メトロ 大手町駅

CPD認定

日本都市計画学会
土木学会

*発表者・共同執筆者は発表者としての単位取得可

応募方法

エントリー書類をUIT事務局へメールにてご提出ください

提出先・問い合わせ

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 事務局
住所：東京都文京区関口1-23-6
(一財)都市みらい推進機構 内
Tel：03-5261-5625 Fax：03-5261-5629
E-mail：uit@uit.gr.jp

主催・後援

主催：アーバンインフラ・テクノロジー推進会議
協賛：三菱地所株式会社
後援：国土交通省、東京都、独立行政法人都市再生機構
一般財団法人都市みらい推進機構
(CPD・協賛・後援：申請予定)



発表分野 (予定)

I 論文

- ◇ 技術・環境・エネルギー 部門
- ◇ 情報・防災・交通 部門
- ◇ まちづくり・都市の再興 部門

II プロジェクト・技術報告

III 共通セッション

* I、IIの演題のうち共通セッションに
該当するとみなされた演題

www.uit.gr.jp

アーバンインフラ再考 ー 未来に向けた安全・安心で持続可能なまちづくりー

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議が設立された1980年代、人口が増加し、都市化・情報化・国際化・サービス経済化をはじめとする経済社会の急速な進展の中で、都市は、産業、経済、文化、市民生活の総合的受け皿の役割を求められていました。このようなニーズに対応して、継続的な都市の発展と高度で豊かな都市化社会の実現には、都市の基盤であるアーバンインフラの強化・充実を図ることが不可欠でした。当時も、アーバンインフラは、活力ある都市づくりのための交通・情報・通信等の活力基盤、快適な国民生活のためのリゾート等の快適基盤、生活の拠点である居住基盤、防災・防犯・自然環境保全等の安全基盤など多様な広がりを持つものとして捉えられており、本推進会議は、技術的知見で、高度で豊かな都市の形成に重要な役割を果たしてきました。

しかし、都市を取り巻く環境が大きく変化し、急速な人口減少に伴って都市の空洞化が進む中、少子高齢社会や国際化、地球温暖化、自然災害に対する強靱化等、さらに多様で複雑な問題に対応しなくてはなりません。また、近年は、高度成長期に一齐に整備されたアーバンインフラの老朽化も深刻な都市問題となっており、水道管破損事故や学校等公共施設の崩落事故等の人的災害が顕在化しています。これら老朽アーバンインフラは、災害多発国であるわが国においては一層深刻な2次被害をもたらすことも懸念されています。加えて、能登半島地震の復興では、アーバンインフラの老朽化だけでなく、高齢社会による投資的余力の低下やコミュニティ崩壊が災害復旧能力を弱体化させている点も指摘されています。

一方、アーバンインフラは物理的な機能だけでなく、地域社会の健康や幸福を支える社会的インフラとして、「人中心」のくらしを実現し、人々の生活の質を向上するための重要な役割を担っています。そのためには、デジタル技術やロボット、AI等の先端技術を、プランニングや建設、維持管理・マネジメント、評価等に有効に活用することや、官民連携や分野間連携、広域連携など適切な事業枠組みの構築に向けた検討、さらには多様な主体のまちづくり参画をあらゆるプロセスで可能とする仕掛けや社会実験・暫定利用を含む機動的な事業展開など、幅広い意味での“技術”の向上を図ることも欠かせません。

このような都市を取り巻く社会情勢の様々な変化を踏まえると、当初共有されていたアーバンインフラの概念は、現在また将来に求められるものへと展開していく必要があり、アーバンインフラの質や価値、内容を今一度考えるべき段階にあります。

そこで、第37回技術研究発表会は「アーバンインフラ再考 ー未来に向けた安全・安心で持続可能なまちづくりー」をテーマとして開催いたします。

応募種別

I 論文

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する先端的な技術を適用した事例や都市づくりに関する構想等をわかりやすく平易に表現した論文 *原則として未発表のもの(梗概・論文・発表データの作成、発表)

II プロジェクト・技術報告

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する技術開発、先端的な技術を適用した事例や都市づくりに関する構想等をパワーポイントや映像により報告・内容説明(梗概・発表データの作成、発表)

応募資格

- 一般企業：原則として当推進会議の会員
- 国、地方公共団体、研究機関、各種団体 等
- 大学(研究者・大学院生)、学識経験者 等

- 産・官・学等の協働の事業プロジェクト 等
- 国から推薦を受けたもの
- 当推進会議の会員から推薦を受けたもの

審査分野

- I 論文 (各部門の名称は予定)
 - ◇ 技術・環境・エネルギー 部門
 - ◇ 情報・防災・交通 部門
 - ◇ 都市の再興・まちづくり 部門

■審査分野(I)および発表分野(I II III)は、エントリー締め切り後、論文審査委員会・技術研究発表委員会にて振り分ける

発表分野

- I 論文 (各部門の名称は予定)
 - ◇ 技術・環境・エネルギー 部門
 - ◇ 情報・防災・交通 部門
 - ◇ 都市の再興・まちづくり 部門

II プロジェクト・技術報告

III 共通セッション

*I、IIのうち共通セッションに該当するとみなされた演題

選考・表彰

I 論文

- 選考：論文審査委員会において論文審査の後、採択された論文は、第37回技術研究発表会において論文発表を行う
- 表彰：第37回技術研究発表会において論文発表をおこなった論文の中から、各分野ごとに優秀賞(各1)、奨励賞(各1～2程度)を閉会式にて発表し、表彰する

エントリー・HP

- エントリー：募集要項やエントリーフォーム等はHPよりダウンロード可
- 提出先：UIT事務局 uit@uit.gr.jp
- HP：技術研究発表会関連情報や過去の論文・梗概が閲覧可

www.uit.gr.jp

